

1999年1月28日

報道関係者各位

ノバルティス ファーマ株式会社
ノバルティス地域医療賞委員会

第6回ノバルティス地域医療賞受賞者決定

昨年12月10日に行われましたノバルティス地域医療賞委員会におきまして、第6回ノバルティス地域医療賞の受賞者5名が下記のとおり決定しました。受賞者には、1月28日東京のホテルオークラにおいて行われた贈呈式で、表彰状と記念楯、副賞として100万円が贈呈されました。

この賞は、住民に密着して医療活動に従事し、優れた功績をあげ、地域住民の保健衛生の向上のために著しく貢献された、日本医師会会員の方を顕彰することを目的に、1993年に設立されたものです。

記

<第5回受賞者>五十音順・敬称略

地域	受賞者	年齢	性別	功績タイトル
香川県小豆郡	うきた はるお 浮田 春雄	65歳	男性	離島地域の救急医療体制確立と育児、児童対策
宮城県塩竈市	おおい こう 大井 康	72歳	男性	地域の各種医療事業への貢献
福岡県福岡市	きよさわ ひろし 清沢 博	67歳	男性	市民への健康ウォーキング指導
沖縄県那覇市	きんじょう かずお 金城 和男	62歳	男性	ねたきり老人対策とかかりつけ医定着事業
鳥取県気高郡	さいとう いつひこ 齋藤 五彦	91歳	男性	地域の乳幼児・学童対策に48年

以上

- 添付資料：第6回受賞者の略歴と功績
ノバルティス地域医療賞の経緯
ノバルティス地域医療賞の規定
ノバルティス地域医療賞委員会委員
第1回～5回受賞者一覧

お問い合わせ先：

ノバルティス ファーマ株式会社
広報グループ・喜多 英人
TEL: 03-3797-8027 / FAX: 03-3797-4367

うきた はるお
浮田 春雄 (65歳)

(昭和32年 徳島大学医学部卒業 香川県医師会)

[功績]

昭和41年、医師不足地域である現在地に整形外科医院を開設、以後32年にわたり島嶼部の医療の充実に努め、島民の健康保持・増進ならびに衛生思想の普及向上に貢献。医師会役員として、地域医療供給体制の充実発展に寄与し、特に離島における救急患者の輸送について島民の負担軽減を香川県に働きかけ、補助金交付制度を実現させた。また、離島で診療に従事する医師の卒後研修にも力を注ぐ傍ら、乳幼児保健対策においても定期的な巡回診療をし、育児指導・栄養調査等の環境衛生向上にも意を注いだ。さらには遠隔地医療の実現に向けて香川医大とインターネットを介したネットワーク化を進めた結果、本年より県の事業として始動した。学校医としても小豆郡内の養護教諭、学校保健担当職員対象にスポーツ医としての立場から講演を頻繁に実施し、児童・生徒の体力向上、健康管理・増進、疾病予防に貢献。

[現職]

浮田整形外科医院院長、小豆郡医師会会長、乳幼児保健相談事業(派遣医師)、土庄町医療問題懇談会委員、土庄町病院運営審議会委員、小豆島血液配給センター理事、土庄町特別職報酬審議会委員、土庄町健康づくり推進協議会委員、土庄町老人介護支援センター運営協議会会長、香川県土庄保健所保健事業連絡協議会会長、小豆郡学校保健会会長、土庄保健所血液対策推進協議会会長、香川県小豆地域保険医療協議会会長

おおい こう
大井 康 (72歳)

(昭和23年 東北大学附属医学専門部卒業 宮城県医師会)

[功績]

昭和33年、産婦人科医院を開業。平成3年、塩釜市と周辺2市3町(地区14の離島あり)の住民の保健・医療・福祉の連携をモットーとする塩釜医師会医療活動センターの建設に尽力し、住民の医療に利便をもたらした。

平成5年、塩釜地区産業保健センター(労働省委託事業)設立に尽力し、経営基盤脆弱な事業者のもとで働く労働者(男性そして殊に女性の)の健康指導・健康相談等の産業保健サービスが発展することとなった。

平成6年、看護ステーション開設に向け、在宅患者調査を実施し、それをもとした行政担当者への説明会開催等の努力を経て、平成8年に医師会立の訪問看護ステーションとして県下で初めての指定を受けられることとなった。

[現職]

大井産婦人科医院院長、宮城県塩釜医師会会長、宮城県医師会副会長、宮城県高齢者サービス総合調整推進会議委員、宮城県医療審議会委員、宮城県社会保険医療協議会委員、宮城県高齢者総合相談センター運営事業推進委員会委員、宮城県国民健康保険診療報酬審査委員会審査委員

きよさわ ひろし

清沢 博 (67歳)

(昭和32年 熊本大学医学部卒業 福岡県医師会)

[功績]

昭和42年開業。本業である耳鼻咽喉科診療の傍ら、市民の健康づくりを目的として昭和58年に「ニコニコペースで走ろう会」を結成。自身も走りながらスピードと脈拍の関係などランニング技術を含めた指導医師として活躍し、参加者から親しまれている。その後、会は“走る”から無理のない“歩く”へと傾斜し平成5年には「ニコニコペース健康教室」となった。平成6年には仲間の医師に呼び掛け「医師と歩こう！健康ウォーク福岡」の開催に尽力し、参加者1,357名に及ぶに至った。「ニコニコペース」の運動は開始後14年間にわたり毎月第3土曜日に開催し続け、氏は福岡の健康ウォーク指導者として市民の共感を集めている。市内の小中学校の校医としても、昭和44年以来現在まで30年近く児童・生徒の健康管理に貢献している。

[現職]

清沢耳鼻咽喉科気管食道科医院院長、福岡市立冷泉小学校校医、福岡市立舞鶴小学校校医、福岡市立警固中学校校医

きんじょう かずお

金城 和男 (62歳)

(昭和35年 熊本大学医学部卒業 沖縄県医師会)

[功績]

昭和50年、外科耳鼻科医院開業。昭和62年、首里城西地区で実施されていた社会福祉サービス事業に、「ねたきり老人訪問診療」の面から協力し、在宅ケア推進モデル事業を進展させてきた。結果、沖縄県内で初の「ねたきり老人訪問診療事業」確立となった。これは那覇市医師会がすすめている「かかりつけ医推進事業」の原点となり、また訪問診療の過程で、入院を要する事態を考慮した病院との協力体制の確立もされ、病診連携の原点にもなった。事業を広く県内に啓蒙すべく県社協主催の「福祉・保健・医療シンポジウム」においても“ねたきり老人ゼロ”を目指して、経験・実績をもとに啓蒙に努めた。

これらの経験をもとに医師会が指定を受けた「かかりつけ医推進モデル事業」を率先して進め、「いつでも、どこでも、誰でも『かかりつけ医』が持てる」シフトをしいたのみならず、24時間医療相談窓口「ほっとコール」も開設した。

校医としても、地元高校で昭和52年以来の20年余を継続して勤めている。

[現職]

金城外科耳鼻咽喉科医院院長、県立首里高等学校校医、日本体育学校健康センター業務運営委員（審査専門員）、沖縄県PTA活動安全互助会審査員、

さいとう いつひこ
齋藤 五彦 (91歳)

(昭和9年 満州医科大学卒業 鳥取県医師会)

[功績]

昭和25年の開業以来48年間、小児科医として昼夜を問わぬ疾病治療に当たると共に、乳幼児健診を通じて乳幼児の疾病動向を探り、その結果をもとに父母ならびに行政関係者の指導を行うことで、乳幼児の健全な発育に貢献してきた。

特に昭和20～40年代前半までは、公衆衛生の整備が遅れており、乳幼児の生活環境改善と栄養指導を中心に地域の集会等で積極的に啓発に努めた。

校医・園医として、通算48年にわたり検診、予防接種等にあたり、健康保持・増進ならびに疾病の早期発見による重篤化防止に努めた。また、教育委員として豊かな情操を養うことを目的とした学校保健教育を提唱し、指導に当たった。

医師会役員を14年間勤め、さらには保健所運営協議会委員あるいは保健所嘱託医として環境衛生整備と感染症の防止に実務的な助言による行政活動の一翼を担ってきた。

[現職]

齋藤小児科内科医院院長

ノバルティス地域医療賞の経緯

1993年、当時の日本チバガイギー株式会社は、日本医師会の協力を得て、Ciba 地域医療賞委員会（現：ノバルティス地域医療賞委員会）を設立し、地域医療に貢献されている日本医師会会員を顕彰する制度が発足いたしました。

この制度は、住民に密着して医療活動に従事し、優れた功績をあげ、地域住民の保健衛生の向上のために著しく貢献された医師会会員の方を顕彰するもので、名称は「Ciba 地域医療賞」とされました。

1994年に第1回の贈呈式を開催し、その後、毎年1回、5名ずつの先生方が受賞され、本年度で30名の先生方に贈呈されることとなります。

なお、1997年4月に日本チバガイギー株式会社がサンド薬品株式会社と統合し、ノバルティス ファーマ株式会社となりましたので、日本医師会のご理解のもと「ノバルティス地域医療賞」と名称を改めました。

本賞の運営および受賞者の選考については、別紙のとおり、日本医師会の代表、学識経験者、ノバルティス ファーマ株式会社の代表者で構成されるノバルティス地域医療賞委員会が行います。

本賞の概要につきましては、別紙の「ノバルティス地域医療賞」の規定をご参照ください。

ノバルティス地域医療賞委員会委員

有識者（2名）

阿部 正和 学校法人 慈恵大学 顧問
東京慈恵会医科大学 名誉教授

小泉 明 産業医科大学 学長
社団法人 日本医師会副会長

社団法人 日本医師会（2名）

委員長

坪井 栄孝 会長

石川 高明 副会長

ノバルティス ファーマ株式会社（1名）

大澤 昭夫 取締役副社長

ノバルティス地域医療賞 これまでの受賞者
(五十音順・敬称略)

第 1 回	第 2 回
神奈川県 小川 武満 静岡県 北村 廉作 宮崎県 清永 恕 大分県 杉田 肇 大阪府 橋本 博	東京都 塚部 祥生 島根県 花田 カズ 京都府 原 治 宮城県 堀田 廣行 茨城県 室生 勝
第 3 回	第 4 回
群馬県 織田 敏郎 岐阜県 黒岩 翠 岡山県 福島 功 愛媛県 藤原 寿則 大阪府 保坂 智子	京都府 伊藤 盛夫 宮城県 庄司 眞 埼玉県 鈴木 邦明 東京都 徳光 裕子 鹿児島県 牧角 仙丞
第 5 回	
宮城県 斎藤 一夫 群馬県 角田 勤 静岡県 三輪 淳 神奈川県 山口 肇久 岐阜県 渡辺 茂樹	

